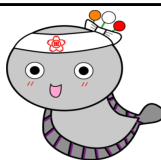




御在所の風



志布志市立田之浦小学校
学校だより 文責：川邊真人
令和5年12月21日発行

教育目標 めざす子どもの姿



「心豊かでたくましい体をもち、自ら学ぶ『田之浦の子』を育成する」

【やさしく】 思いやりの心をもち、相手を尊重できる子

【かしこく】 自ら学び、考え、粘り強く学習を続ける子

【たくましく】 命の大切さを知り、自ら鍛える子

12月

「ほめ言葉」のプレゼント～思いやりの心を育てるために～

街にはクリスマスソングが流れ、イルミネーションも彩り豊かに飾られています。校内でも、クリスマスソングを元気に歌う子供たちの声が響き、子供たちはサンタさんが来るのをワクワクしながら待っているようです。しかし、サンタさんより一足先に、学期末に持ち帰った通知表やテスト、作品などを利用して、すてきな「ほめ言葉」をプレゼントしてみたいはいかがでしょう。

12月5日（火）は、本校において「人権教室」を開催しました。講師の先生から、「皆が幸せに生活するためには、お互いが思いやりの心をもつこと」を御指導いただきました。相手を思いやるためには、まず自分に「相手を思いやる心をもつ余裕」が必要です。この余裕が、自尊感情（自分を「かけがえのない価値ある存在」としてとらえる気持ち）からくる「やる気」や「自信」です。この自尊感情があればこそ、人にも思いやりをもつ余裕が生まれ、人に優しく接することができると思っています。

子供たちの自尊感情を育むためには、タイミングよく子供の心に届くようにほめ、自信を引き出すことが必要ですが、これが、なかなか難しいことですね。そこで、ほめ方のポイントをいくつか紹介します。

1 結果でなく過程をほめる。

×：「100点とったね。天才！」「◎がいっぱいだね。すごい！」

○：「毎日計算練習を頑張っていたからだね。」※満点でなくても頑張りを認める！

2 具体的にほめる。

×：「花丸がもらえてよかったね。」

○：「この漢字のはらうところが、とってもきれいに書いているね。」

3 対話しながらほめる。

×：「絵が上手にかけたね。」

○：「これは、学校で公園にいったときの絵？」「みんな楽しそうだね。」

4 「感謝」「感動」を伝える。

×：「作文が上手に書けたね。」

○：「家族の仲のよさを書いてくれたの。ありがとうね。」

5 人と比べない。

×：「〇〇ちゃんより上手にできたね。」

○：「あなたの～なところがとても素敵だよ。」



子供の気持ちに目を向けて、気付いたことを素直な言葉で伝えることが大切です。子供たちが満足感をもって今年を締めくくり、希望をもって新年をむかえるとともに、自尊感情を高め、思いやりいっぱいの優しい子供に成長するよう、お子さんに愛情いっぱいの「ほめ言葉」をプレゼントしてください。

よいお年をお迎えください～2学期もお世話になりました～

残暑厳しい2学期がスタートし、運動会、校外学習、音楽発表会、持久走大会と、たくさんの行事がありました。また、郷土料理教室やグランドゴルフ大会、御在所会の皆様との花植え、そして、市文化会館での神楽の発表など、地域の皆様を支えられて実施できた行事もありました。子供たちは、それぞれの行事を通して、素直にのびのびと成長してくれました。これも、保護者、地域の皆様の御理解、御協力、そして温かい見守りのおかげです。2学期も、大変お世話になりました。今年の冬は、コロナの制限は撤廃されたもののインフルエンザ等感染症の心配は絶えません。保護者、地域の皆様におかれましては、ぜひ健康に御留意されて、御家族そろって楽しい新年をお迎えください。

